

DEEPFREEZEMAC"

クライアントの完全な整合性





www.faronics.com



最新更新日:2020年3月

© 1999 – 2020 Faronics Corporation。All rights reserved。Faronics、Deep Freeze、Deep Freeze Cloud、Faronics Core Console、Faronics Anti-Executable、Faronics Anti-Virus、Faronics Device Filter、Faronics Data Igloo、Faronics Power Save、Faronics Insight、Faronics System Profiler、 WINSelect は Faronics Corporation の商標および / または登録商標です。その他すべての会社名および 製品名はそれぞれの所有者の商標です。



目次

序文
Faronicsについて
製品マニュアル
Apple Remote Desktop (ARD)について6
テクニカルサポート
用語の定義
はじめに
Deep Freeze概要
システム要件
Deep Freezeのインストール
$Deep = Freeze \mathcal{O} \mathcal{A} \vee \mathcal{A} h = \mathcal{V} $
t^{2}
オプション2: 4 ンストールパッケージの作成 10
オプション2: Deep Freeze RemoteとAPDのためのタスクのインストール 26
ファンヨンS. Deep Treeze Nemote CANDのためのメスクのインストール
Deep Treeze Mac C O Agnu O 区内
Deep Freezeの使用
概要30
Deep Freezeのアイコン 30
ドキュメントの保存
ソフトウェアインストールおよび永久的な変更 30
Deen Freeze更新のチェック 31
ログイン 32
Boot Control $(\ddot{\neg} - \lor \neg \lor \lor \neg \lor) \land \neg$ 33
ドライブタブ 35
7 アイアグラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
グローバルThawSpaceの追加 37
ユーザーThawSpaceの追加 37
ニーザーまたはグローバルThawSpaceの削除 37
ThawSpaceのサイズ変更 38
ThawSpaceのサイズ変更の制限 39
Maintenanceタブ 40
複数のメンテナンス スケジュールの作成および命名 40
寝気のパンプアプライスアンユードのの作気のよう時日 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
「編末、「別が、エノハか」「、「ノカ・「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
、
DFューザーの追加 削除 編集 //
アンインストールタブ //s
ジンコンパー パンジン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Deep Freeze Remote



概要. Deep Freeze Remoteの使用. Freeze. Thaw. 	48 49 49 50 50 50 50 52 52
アンインストール. Deep Freezeのタスク 概要. Deep Freezeタスクの使用. Apple Remote Desktopを使ったスクリプトファイルの追加 タスクリストへのターゲットコンピュータの追加 タスクの使用および編集 コマンドラインスクリプトの例.	52 53 54 55 59 60 61 63
Deep Freezeのアンインストール コンピュータ上のDeep Freezeの手動でのアンインストール Deep Freeze Remoteを使ったDeep Freezeのアンインストール Deep Freezeタスクを使ったDeep Freezeのアンインストール	65 66 67



序文

本ユーザーガイドではDeep Freeze Macのインストール方法、設定方法、使用方法について説明します。

トピック

重要な情報 テクニカルサポート



このセクションにはお客様のFaronics製品についての重要な情報が記載されています。

Faronicsについて

Faronicsは、複雑なIT環境の管理を容易にし、セキュリティを確保する、業界屈指の ソリューションをお届けしています。Faronicsの製品は、システムの可用性を100 パーセント確保することで、多くの情報技術専門家の日常業務を劇的に改善しました。 学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業でFaronicsの顧客 中心の取り組みによるパワフルな革新的テクノロジーを有効にご利用いただいていま す。

製品マニュアル

Deep Freeze Macのマニュアルは、次のマニュアルで構成されています:

- Deep Freeze Mac ユーザーガイド このマニュアルでは製品の使用方法を説明します。
- Deep Freeze Mac リリースノート このドキュメントには新しい機能、既知の問題 が記載されています。

製品マニュアルは、 www.faronics.com/library からダウンロードできます。

Apple Remote Desktop (ARD)について

Apple Remote Desktopは、アップルコンピュータ社のMac OS X用デスクトップに対 する完全なデスクトップ管理ソリューションです。Faronics は Apple Remote Desktop の販売およびテクニカルサポート情報の提供は行っておりません。ARDに関する詳細 は、http://www.apple.com/remotedesktopを参照してください。



テクニカルサポート

当社では、使いやすく、問題のないソフトウェアを設計するためにあらゆる努力を重ね ています。万が一、問題が発生した場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。

Web:

www.faronics.com テクニカルサポート: www.faronics.com/support

用語	定義
Frozen	加えられた変更が不正または意図的に関わりなく、再起動時に元の 状態に復元されるDeep Freezeの状態。
Thawed	コンピュータに加えた変更は永久的なもので、再起動時に元の状態 に復元されないDeep Freezeの状態。
ThawSpace	ThawSpaceはプログラムの保管、ファイルの保存、恒久的な変更 などに使われる仮想パーティションです。ThawSpaceに保存され たすべてのファイルは、コンピュータがFrozenモードであっても、 再起動後にも維持されます。ThawSpaceは保護されていないため、 バックアップまたはウイルススキャンなどの標準的なデータ保護が 必要です。
Deep Freeze Remote	Deep Freeze Remoteは、Apple Remote Desktop (ARD)を介して Deep Freezeの管理を可能にするアプリケーションです。
Deep Freeze のタスク	Deep Freezeのタスクは、ARDを介してDeep Freezeを管理する ために使用する、予め設定されたアクションです。



はじめに

Faronics Deep Freezeは、コンピュータの基本的な設定を保持することによってコン ピュータの破損やダウンタイムを防止します。Deep Freezeがコンピュータにインス トールされた後は、コンピュータの設定へのいかなる変更も、それが偶然によるか悪意 によるものかに関わりなく、コンピュータがFrozenモードであれば、そのセッション でのみ有効となります。Deep Freezeは、現在のコンピュータ環境で問題となる設定の 一時的変更、偶然的なシステムの誤設定、不正なソフトウェアの使用、派生的なシステ ムの性能低下など多くの問題を一挙に解決します。



コンピュータがハードドライブから起動するように設定されている場合、 Deep Freezeはそのコンピュータを保護します。コンピュータが外付け のドライブ(USB、FireWire、Thunderbolt)またはDeep Freezeがイン ストールされていないハードドライブから再起動するように設定されて いる場合は、Deep Freezeによって保護されません。

トピック

Deep Freeze概要 システム要件



Deep Freeze概要

Deep Freezeは起動ドライブ(オペレーティングシステムがインストールされているド ライブ)を保護し、オプションでコンピュータのその他のドライブも保護します。コン ピュータにインストールされたプログラムがDeep Freezeで保護されるドライブにイ ンストールされている場合、Deep Freezeによってそのプログラムも保護されます。

また、Deep Freezeはコンピュータのユーザープロファイルも管理します。ユーザーのホームディレクトリにはユーザーの環境設定が保存されます。また、文書、インターネットのお気に入り、音楽などのデータも保存されます。

Deep Freezeには次の2つのモードがあります。

- Frozen 加えられた変更が不正または意図的に関わりなく、再起動時に元の状態に 復元される Deep Freeze の状態。
- Thawed コンピュータに加えた変更は永久的なもので、再起動時に元の状態に復元されない Deep Freeze の状態。



コンピュータがハードドライブから起動するように設定されている場合、 Deep Freezeはそのコンピュータを保護します。コンピュータが外付け のドライブ(USB、FireWire、Thunderbolt)またはDeep Freezeがイン ストールされていないハードドライブから再起動するように設定されて いる場合は、Deep Freezeによって保護されません。



Deep Freeze Macのシステム要件:

Deep Freeze Mac 6.2は、次のOSに対応しています。

- OS X Mavericks 10.9.x
- OS X Yosemite 10.10.x
- OS X El Capitan 10.11.x
- macOS Sierra 10.12
- macOS High Sierra 10.13
- OS X Server Mavericks 10.9.x
- OS X Server Yosemite 10.10.x
- OS X Server El Capitan 10.11.x

Deep Freeze Mac 6.0 は、次のOSに対応しています。

- OS X Lion 10.7.5
- OS X Mountain Lion 10.8.x
- OS X Server Lion 10.7.5
- OS X Server Mountain Lion 10.8.x

Deep Freeze MacはUniversal Binaryアプリケーションです。

ARDの組み込みには、Apple Remote Desktopバージョン3.2以降が必要です。

推奨される最小RAMは256 MBです。

サポートするファイルシステムはHFS+となりますが、 暗号化されたディスクは対応し ません。 **12** はじめに





Deep Freeze のインストール

この章では、インストールプロセスについて説明します。

トピック

Deep Freezeのインストール オプション1: ローカルでインストールまたはアップグレード オプション2: インストールパッケージの作成 オプション3: Deep Freeze RemoteとARDのためのタスクのインストール Deep Freeze Mac でのXgridの使用



Deep Freezeのインストール

Deep Freeze Macのインストールと設定には管理者権限が必要です。 Deep Freeze Macは、からダウンロードできます。

www.faronics.com

Deep Freeze Macをインストールするには、次の手順を実行します。

1. Deep Freeze インストーラをダブルクリックして、インストールプロセスを開始し ます。次の画面が表示されます。

	以下のいずれかのオプションを選択します:
	ローカルでインストールまたはアップグレード
	このコンピュータにDeep Freezeをデフォルト設定でインストールするか、Deep Freezeをアップグレードして、このコンピュータの既存の設定を残しておきま す。
52	インストールパッケージの作成 複数のコンピュータに対して同じ設定でDeep Freezeインストールパッケージを 作成します。
	Deep Freeze RemoteとARDのためのタスクのインストール Deep Freezeをリモートで管理するために、Deep Freeze RemoteおよびApple

- 2. 次のいずれかのオプションを選択します。
- オプション1:ローカルでインストールまたはアップグレード インストーラを実行しているコンピュータに Deep Freeze をインストールします。
- オプション 2: インストールパッケージの作成 複数のコンピュータに対して同じ設定のインストールパッケージを作成します。
- オプション 3: Deep Freeze Remote と ARD のためのタスクのインストール コン ピュータに Deep Freeze Remote と、Apple Remote Desktop のための Deep Freeze タスクをインストールして、Deep Freeze がインストールされたコンピュー タをリモートで管理します。

3. [次へ]をクリックします。

上記のそれぞれのオプションについては、次のセクションで説明します。

- オプション 1: ローカルでインストールまたはアップグレード
- ・ オプション 2: インストールパッケージの作成
- オプション 3: Deep Freeze Remote と ARD のためのタスクのインストール



オプション1: ローカルでインストールまたはアップグレード

インストーラを実行しているコンピュータにDeep Freezeをインストールする場合に は、このオプションを使用します。また、このオプションを使って、ローカルでインス トールされた以前のバージョンのDeep Freezeをアップグレードすることもできます。 [ローカルインストール]を選択して、[次へ]をクリックしたら、次の手順を実行しま す。

1. Deep Freeze インストーラが表示されます。

00	🥪 DFX のインストール
	ようこそ DFX インストーラヘ
 はじめに 大切な情報 使用許諾契約 登録 インストールの相 インストールの相 インストール 概要 	Beep Freeze Mac バージョン 5.70 Copyright 2005 - 2013 Faronics Corporation Deep Freeze Mac は、コンピュータをあらゆる変更から保護します。 インストーラが「Deep Freeze Mac」のインストールに必要な手順をご 案内します。[続ける]をクリックしてください。
	戻る続ける

2. [セキュリティに関するご注意]が表示されます。[次へ]をクリックします。

	大切な情報
 はじめに 大切な情報 使用許諾契約 登録 インストール先の話 インストールの種類 インストール 概要 	セキュリティに関して: Apple 社では、Open Firmware Password という、通常の起動に関係するキーを無効にできるアプリケーションを提供 しています。この機能を使用することで、マシン起動時にユーザーが、 他のディスクから起動することや、シングルユーザーモードで起動する ためのキーを押すことを防止します。 オペレーティングシステムのメジャーバージョンのアップグレード(たと えば、Mac OS X 10.6.xから10.7など)を行う前に、Deep Freezeを必 ずアンインストールしてください。アップグレードを完了したら、Deep Freezeを再インストールできます。
	ブリント 保存 厚る 続ける



3. ライセンス契約が表示されます。[次へ]および[同意]ををクリックします。

	C/Dat Hd X#9
●はじめに	日本語
● 使用許諾契約	Deep Freeze Mac- ライセンス
● 登録	Faronics Corporation Copyright 2004 - 2013 All Rights Reserved
 ● インストール先の ● インストールの利 	2選択 マスター ソフトウェア ライセンス契約
● インストール	ライセンスの許諾: Faronicsは本契約の条項に基づいて、上記の「ライセン ス数」の項で規定された数のコンピュータまたは教室で本製品をインストー
● 概要	ル、使用、アクセス、表示、実行、またはやり取りする(以下総称して、「使 用、)限定的かつ非独占なライセンスをライセンシーに許諾します。いかなる
	場合においても、ライセンシーは、「ライセンス数」の項で規定されたコン
	ビューダの数または教室の数を超える数のコンビューダまたは教室で本製品 を使用することはできません。さらに、ライセンシーは、アーカイブのため
	のコピーとして保持する目的で、また使用中のコピーを喪失した際にライセ ンシーが使用する目的のみで、本製品のソフトウェアコンポーネントのコ
	ビーを、前述のライセンス数を上限として作成することができます。その他 のすべての権利はFaronicsにより明示的に留保されます。

ライセンスキーがある場合は、それを入力します。評価版として Deep Freeze をインストールするには、[ライセンスキー]を空欄にしておきます。[次へ]をクリックします。



┃ Deep Freezeをインストールしたら、ログインし、[DFXControl] > [ラ イセンスキーの入力]を選択します。ライセンスキーを入力して、[OK] をクリックします。

000	🥪 DFX のインストール
	登録
 ○ はじめに ○ 大切な情報 ○ 使用許諾契約 	ライセンスキー を指定してください:
 ● 登録 ● インストール先の選 	R
 インストール 概要 	
	ライセンスキーの入力が行なわれない場合、製品を評価目的のために、30日 間使用できます。ライセンスキーの入力はインストール後にいつでもするこ とができます。
	戻る続ける



5. [インストール]をクリックします。システム管理者のパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

00	🥪 DFX のインストール
 はじめに 大切な情報 使用許諾契約 登録 インストール先の選択 インストールの種類 インストール 概要 	"Macintosh HD"に標準インストール この操作には、コンピュータ上に 19.8 MB の領域が必要です。 ディスク"Macintosh HD"にこのソフトウェアを標準イ ンストールするには、"インストール"をクリックしてく ださい。
	インストール先を変更
	戻る インストール



[再起動]ボタンをクリックすると、コンピュータが再起動します。

コンピュータはFrozenモードで再起動します。Deep Freezeの設定に変更を加えるに は、Deep Freezeアイコンをクリックして、メニューから[ログイン]を選択します。 または、[Ctrl] + [Opt] + [F6]のキーを同時に押して、Deep Freezeを起動することも できます。Deep Freezeを起動する別の方法として、/Applications/Faronics/にある DFXControl.appをクリックすることもできます。



以前のバージョンのDeep Freezeのをアップグレードしている場合、既存のユーザーは維持されます。Deep Freezeを初めてインストールする場合は、ログインする前に、Deep Freeze管理者アカウントを作成するよう指示されます。Deep Freezeのログインの詳細は、[ログイン]を参照してください。





│Frozenモードのコンピュータに永久的な変更を行うには、その前に、[ブートコントロール]タブを使って、Thawedモードで再起動する必要 があります。詳細は、[Boot Control (ブート コントロール)タブ]を参 照してください。



オプション2: インストールパッケージの作成

複数のコンピュータに対して同じ設定のインストールパッケージを作成するには、この オプションを選択します。

[インストールパッケージの作成]を選択して、[次へ]をクリックしたら、次の手順を 実行します。

- 1. 次の画面が表示されます。これには2つのオプションがあります。
- オプション A: インストーラの作成: アップグレードインストーラを作成するには、[カスタマイズを行わず、Deep Freeze をアップグレードするためのインストーラを 作成する]を選択します。これにより、既存の設定を使って、Deep Freeze がアッ プグレードされます。
- オプション B: インストーラのカスタマイズ: [カスタマイズを行わず、Deep Freeze をアップグレードするためのインストーラを作成する]を選択しないでください。

[次へ]をクリックします。この例では、オプション B を選択しています。

	インストーラの作成
 ・ インストーラの作成 ・ ライセンス ・ Deep Freeze 管理者 ・ ブートコントロール 及びその他の設定 ・ ThawSpace ・ ユーザ Mapping ・ メンテナンス ・ 保存先 ・ 完了 	Deep Freezeをアップグレードするためのインストーラを作成し、既存の設定を維持す るためのオプションを次の中から設定します。 カスタマイズを行わず、Deep Freezeをアップグレードするためのインストーラ を作成する Deep Freeze環境のアップグレードに関する詳細を見る。
	戻る 続ける



2. [評価版を使用]を選択するか、または有効なライセンスキーを入力するには、[ラ イセンスキーの入力]を選択します。[次へ]をクリックします。

000	Deep Freezeインストーラ
	ライセンス
 ・ インストーラの作成 ・ ライセンス ・ Deep Freeze 管理者 ・ ブートコントロール ・ 及びその他の設定 ・ ThawSpace ・ ユーザ Mapping ・ メンテナンス ・ 保存先 ・ 完了 	 ● 評価版(30日間有効)の使用 ● ライセンスキーを入力します: ライセンス キー:
a a h	ライセンスまたはメンテナンスパッケージをすでに購入済みの場合、 <u>FaronicsLabs</u> からご利用いただ けます。新しいライセンスを購入するには、 <u>今すぐ購入</u> をクリックしてください。

3. Deep Freeze の管理者を作成します。[Deep Freeze ユーザー名]、[パスワード] を入力し、パスワードを再入力して確認します。[次へ]をクリックします。

0 0	Deep Freezeインストーラ
	Deep Freeze 管理者
● インストーラの作成● ライセンス	インストール後にDeep Freezeに変更を加えるために、Deep Freezeのための管理者を 作成します。
● Deep Freeze 管理者	Deep Freezeユーザ名:
 ブートコントロール 及びその他の設定 	パスワード:
ThawSpace	パスワードの確認:
● ユーザ Mapping	
• メンテナンス	· ·
● 保存先	
● 完了	
	V
	以前のインストールで使用したDeep Freezeユーザ名とハスワードが使用されます。
	戻る続ける

4. 追加のユーザーを作成します(オプション)。この例では、[いいえ、続行します] が選択されています。

新しいユーザを作成しますか? ユーザは最高4名まで作成可能です。最初のユーザは常に管理者でなければなりま せん。
いいえ。このまま続けます。 はい。新しく作成します。



5. 次のオプションを選択して、[次へ]をクリックします。

000	Deep Freezeインストーラ
	プートコントロール及びその他の設定
 ・ インストーラの作成 ・ ライセンス ・ Deep Freeze 管理者 ・ ブートコントロール ・ 及びその他の設定 ・ ThawSpace ・ ユーザ Mapping ・ メンテナンス ・ 保存先 ・ 完了 	Deep Freezeの再起動をFrozenまたはThawedに設定し、ステルス設定およびApple Remote Desktopでのステータスの表示を指定し、1つ以上のドライブをThawedに設 定します。 Frozen モードで起動 ケの 1 ・ のみをThawed モードで起動 Thawed モードで起動 cn6のパーティションを非保護にする: Frozen モードのアイコンを隠す Frozen モードのパーティションにパッジを表示しない ログマウトの代わりに再起動
	□ ステータスをApple Remote Desktopに表示 使用する情報フィールド: 情報 1 ↓
	反る 続ける

- Frozen モードで起動 Frozen モードでコンピュータを再起動するには、このオプションを選択します。これにより、再起動後に Deep Freeze が保護されます。
- 次回起動時に Thawed モードで起動 Frozen モードで再起動する前に、ある一定の 回数だけ Thawed モードで再起動する場合には、このオプションを選択します。ス ピンボックスから x の値を選択します。



簡単な変更の場合は、[次回起動時にThawedモードで起動]を使用しま す。ソフトウェアのインストールまたはアップグレードの場合は、イン ストールを完了してテストするために、[Thawedモードで起動]の使用 を推奨します。

- Thawed モードで起動 Thawed モードでコンピュータを再起動するには、このオ プションを選択します。このオプションにより、再起動後に Deep Freeze の保護が 無効になり、コンピュータへの永久的な変更が可能になります。
- これらのパーティションを Thaw にする Thawed モード(コンピュータが Frozen モードの場合にも)にしておくパーティションを指定します。
- Frozen モードのアイコンを隠す メニューバーの Frozen アイコンを非表示にする には、このオプションを選択します。
- Thawed モードのアイコンを隠す メニューバーの Thawed アイコンを非表示にするには、このオプションを選択します。
- Frozen モードのパーティションにバッジを表示しない? Frozen モードのパーティ ションにバッジを表示したくない場合には、このオプションを選択します。
- ログアウトしないで再起動 ユーザーがログアウトする際に、コンピュータを再起 動するには、このオプションを選択します。
- Apple Remote Desktop でステータス表示 Apple Remote Desktop で Deep Freeze のステータスを表示するには、このオプションを選択します。ドロップダウンから ステータスを表示するために使用するフィールドを選択します。コンピュータが Frozen モードまたは Thawed モードのときに、これが表示されます。



 [ThawSpace] タブで次のオプションを選択して、[次へ]をクリックします。 ThawSpace は、再起動を繰り返しても、データが維持される仮想パーティション です。コンピュータが Frozen モードになっているときでも、データは維持されま す。ThawSpace は Deep Freeze で保護されません。

	ThawSpace		
● インストーラの作成● ライセンス	Frozenモードのコンピュータでデータが永久的に保 す。	存されるThawSpaceを割	り当てま
 Deep Freeze 管理者 ブートコントロール 	 クローバル ThawSpace を作成 各ユーザの ThawSpace を作成 	1	GB
• ThawSpace			
 ・ ThawSpace ・ ユーザ Mapping ・ メンテナンス ・ 保存先 ・ 売了 	<u>ThawSpaceの詳細を見る。</u>		

- 次のサイズのグローバル ThawSpace を作成 すべてのユーザーがデータを保存す るためにアクセスできる ThawSpace を作成するには、このオプションを選択しま す。ThawSpace スペースのサイズを指定します。
- 各ユーザーに対して次のサイズの ThawSpace を作成 各ユーザーのために ThawSpace を作成するには、このオプションを選択します。ThawSpace スペース のサイズを指定します。
- [ユーザーマッピング]画面で次のオプションを選択して、[次へ]をクリックします。管理者は[ユーザーマッピング]を使うと、ユーザープロファイルを ThawSpace または Thawed ディスクにリダイレクトすることができ、再起動を繰り返してもデータが維持されます。

0	Deep Freezeインストーラ	
	ユーザ Mapping	
● インストーラの作成● ライセンス	Thawedモードのときに、ユーザーをThawSpaceまた す。	にはパーティションにマップしま
 ⊖ Deep Freeze 管理者 ⊖ ブートコントロール ⊖ 及びその他の設定 	□ 通常ユーザを次の場所にマッピングする:	パーティション \$
 ^Θ ThawSpace ^Θ ユーザ Mapping メンテナンス 	□ 管理者を次の場所にマッピングする:	□ パーティション ↓
• 保存先 • 完了	□ モパイル ユーザを次の場所にマッピングする:	パーティション ‡
	5	
		戻る続ける



- 標準ユーザーを次の場所にマッピングする このオプションを選択して、標準ユー ザーのデータを保存する ThawSpace を指定します。前の手順で作成した ThawSpace がここで選択できます。
- 管理ユーザーを次の場所にマッピングする このオプションを選択して、管理ユー ザーのデータを保存する ThawSpace を指定します。前の手順で作成した ThawSpace がここで選択できます。
- モバイルユーザーを次の場所にマッピングする このオプションを選択して、モバ イルユーザーのデータを保存する ThawSpace を指定します。前の手順で作成した ThawSpace がここで選択できます。
- [Maintenance] 画面で次のオプションを選択して、[続ける]をクリックします。管理者は、Deep Freeze のメンテナンススケジュールを使って、メンテナンス操作をスケジュールし自動化できます。メンテナンス期間中に、Deep Freeze は Thawed モードでコンピュータを再起動し、メンテナンスを実施します。メンテナンス期間の最後に、Deep Freeze は Frozen モードでコンピュータを再起動します。



メンテナンススケジュールを追加するには、(+)をクリックします。次の設定を行いま す。

- 名前 デフォルトは [スケジュール 1] です。この名前をそのまま使うことも、変更 することもできます。
- 頻度 複数の日数には、[繰り返し]を選択し、1日には[一度のみ]を選択します。
- 曜日 [月] ~ [日]をクリックして、1日以上の曜日を選択します。
- 開始 開始時間を選択します。
- 終了 終了時間を選択します。
- [Apple ソフトウェアアップデートをインストールします]を選択して、使用可能な すべての Apple ソフトウェアアップデートをインストールします。ソフトウェア アップデートのインストールオプションによって、ファームウェアのアップデート はインストールされません。
- スクリプトの実行 すでに [スクリプト]フォルダにあるスクリプトに対して、この オプションを選択して、ドロップダウンから [スクリプトの追加]を選択します。 新しいスクリプトを追加するには、フォルダに移動し、実行可能なスクリプトファ



イルを選択して、[選択]をクリックします。スクリプトがドロップダウンメ ニューに表示されます。

- [ユーザーをロックアウト]を選択して、メンテナンス期間中はユーザーがコン ピュータにアクセスできないようにします。
- [メンテナンス後にシャットダウン]を選択すると、メンテナンス期間終了後にコンピュータがシャットダウンされます。
- [メンテナンスが開始する x 分前にメッセージを表示する]を選択すると、コン ピュータが指定された時間に使用できなくなること警告するメッセージが表示され ます。指定のフィールドに警告時間を入力します。テキストボックスに、指定され た時間にメンテナンススケジュールが発生することを説明する、ユーザーへのカス タムメッセージを入力します。変数として [%d]をメッセージに挿入すると、メン テナンス期間開始までの分数が自動的に表示されます。([%d]は現在の時間とスケ ジュールされたメンテナンスの開始時間との時間差に対応する変数です。)



最短のメンテナンス期間は10分です。

スケジュールとスケジュールの間は最低10分の間隔をあける必要があり ます。

メンテナンスが完了されるために、十分な時間を取るようにしてください。時間が十分でないと、アップデートが完了しません。

9. 場所を指定するために、[選択]をクリックします。[続ける]をクリックします。



Frozenモードのコンピュータでインストーラを作成する場合、Thawed の場所に保存するようにしてください。

	保存先	
 ・ インストーラの作成 ・ ライセンス ・ Deep Freeze 管理者 ・ ブートコントロール 及びその他の設定 ・ ThawSpace ・ ユーザ Mapping ・ メンテナンス ・ タクタケ 	カスタムインストーラの保存場所を選択します。 ローケーション未選択 通	訳
• 宋叶元 • 完了		结日之



10.Deep Freeze インストーラが正常に作成され、指定した場所に保存されました。 [Finder に表示]をクリックすると、ファイルを確認できます。[終了]をクリック して、インストーラを閉じます。

00	Deep Freezeインストーラ	
	完了	
● インストーラの作成● ライセンス	Deep Freezeインストーラは正常に/Users/admin/Desktop/ DFX_5.70_カスタム.pkgに保存されました。	Finderに表示
● ブートコントロール 及びその他の設定	<u>Deep Freeze Remoteを使ってDeep Freezeを展開する詳細な方法を見る。</u>	
⊖ ThawSpace		
◎ ユーザ Mapping		
◎ メンテナンス		
⊖ 保存先		
● 完了		
	2	
	Ę	る 終了

インストーラを作成したら、手動で、またはApple Remote DesktopやDeep Freeze Remoteを使って、複数のコンピュータに展開することができます。詳細は、[Deep Freeze Remote]および[Deep Freezeのタスク]を参照してください。



オプション3: Deep Freeze RemoteとARDのためのタスクのインス トール

ARDを介してリモートでDeep Freezeを管理するために、Deep Freeze RemoteおよびDeep Freezeタスクをインストールするには、このオプションを選択します。

[Deep Freeze RemoteとARDのためのタスクのインストール]を選択して、[次へ] をクリックしたら、次の手順を実行します。

1. Deep Freeze 管理者を作成します。[Deep Freeze ユーザー名]、[パスワード]を 入力し、パスワードを再入力して確認します。



ターゲットワークステーションでDeep Freezeの以前をインストールを アップグレードする場合、この手順で既存のDeep Freeze管理者ユー ザー名とパスワードを入力する必要があります。Deep Freeze管理者が すでに存在する場合、この手順で新しいDeep Freeze管理者を作成する ことはできません。

000	Deep Freezeインストーラ
	Deep Freeze 管理者
● Deep Freeze 管理者 ● 完了	インストール後にDeep Freezeに変更を加えるために、Deep Freezeのための管理者を 作成します。このDeep Freezeユーザ名とパスワードは、Deep Freeze Remoteまたは ARDのためのDeep Freezeタスクにも使用されます。
	Deep Freezeユーザ名:
	パスワード:
	パスワードの確認:
6	
	以前のインストールで使用したDeep Freezeユーザ名とパスワードが使用されます。
	反る 続ける



 [リモートを開く]をクリックして、Deep Freeze Remote を起動します。[ARD を 開く]をクリックして、Apple Remote Desktop を起動します。[終了]をクリック して、インストーラを閉じます。

00	Deep Freezeインストーラ	
	完了	
 Deep Freeze 管理者 ● 完了 	Deep Freezeインストーラを複数のコンピュータに展開するた リモートを開く めにDeep Freeze Remoteを開く。	
TO.	ARDのためのDeep Freezeタスクは正常にインストールされま ARDを開く した。)
6)	<u>Deep Freeze Remoteを使ってDeep Freezeをリモートで管理する詳細な方法を見る。</u>	
	戻る終了	



Apple Remote Desktop 3.7以降を使用している場合、 Deep Freezeタス クのインストールを完了するためにコンピュータを再起動する必要があ ります。インストール後にコンピュータを再起動するかどうかを尋ねら れます。[再起動]をクリックしてコンピュータを再起動し、インストー ルを完了します。

インストーラは、手動で、またはApple Remote DesktopやDeep Freeze Remoteを 使って、複数のコンピュータに展開することができます。詳細は、[Deep Freeze Remote]および[Deep Freezeのタスク]を参照してください。



Deep Freeze Mac でのXgridの使用

FrozenモードのMacintoshでXgridが正常に動作するには、Xgridフォルダが Thawedパーティションにシンボリックリンクされている必要があります。コンピュー タがThawedモードの場合、/private/var/xgridフォルダをThawedの場所(グローバ ルThawSpaceかThawedパーティションのいずれか)にマッピングした上で、元の場 所にシンボリックリンクします。

- ターミナルを使用して次の作業を行います。
- [任意の Thawed の場所](別のパーティションまたはグローバル ThawSpace)で sudo cp - R /private/var/xgrid を実行します
- sudo rm -R /private/var/xgrid を実行します
- sudo In -s [任意の Thawed の場所]/xgrid /private/var/xgrid を実行します

Deep Freeze の使用

この章では、Deep Freeze Macへのアクセス、構成、使用手順について説明します。

トピック

概要 ログイン Boot Control (ブート コントロール)タブ ドライブタブ ThawSpaceタブ Maintenanceタブ マッピングタブ アンインストールタブ





Deep Freezeをインストールしたら、コンピュータは通常どおりに操作できます。 Deep Freezeがコンピュータにインストールされていることを表すのは、メニュー バーに表示されるDeep Freezeアイコン(設定による)またはFrozenボリュームに表 示されるDeep Freezeアイコンバッジ(設定による)、設定されたグローバルまたは ユーザーThawSpaceのみです。

ファイルおよびフォルダの名前変更や削除、インターネットからのファイルのダウン ロード、デスクトップの変更など、コンピュータへの変更も実施できます。ただし、 Frozenボリュームは、再起動時に元の設定と内容が復元されます。

Deep Freezeのアイコン

アイコンを表示するように設定してあれば、Deep Freezeのインストール後、メ ニューバーにポーラベア(白くま)のアイコンが表示されます。

(iii)

Frozenポーラベアアイコンは、現在コンピュータがFrozenモードであることを示します。

•

Thawedポーラベアアイコンは、現在コンピュータがThawedモードであることを示します。

ドキュメントの保存

Frozenモードのコンピュータでは、Thawedボリューム、グローバルまたはユーザー ThawSpace、ネットワーク上、CD、USBドライブ、Fire Wireハードドライブに、ド キュメントを保存することができます。詳細は、[マッピングタブ]を参照してくださ い。

ソフトウェアインストールおよび永久的な変更

永久的な変更およびソフトウェアインストールは、Thawedコンピュータまたは Thawedボリューム、コンピュータのThawSpaceでのみ実行できます。コンピュータ がFrozenモードのときにインストールされたソフトウェアは、再起動後に消失しま す。

環境設定ファイルの作成、ユーザー登録ダイアログの表示解除、様々な値の初期化のために、新しくインストールしたアプリケーションをThawedモードのコンピュータまたはボリュームで少なくとも1度は起動する必要があります。

新しくインストールしたアプリケーションのセットアップを完了するために、コン ピュータの再起動が必要になる場合があります。この場合、コンピュータをThawed モードで再起動してから同じユーザーアカウントでログインし、アプリケーションを1 度実行して、コンピュータの設定前にログアウトし、Frozenモードで再起動すること が推奨されます。



Deep Freeze更新のチェック

インストールされているDeep Freezeが最新のバージョンかどうかをチェックするに は、[Help (ヘルプ)] > [Check For Updates (更新の確認)] を選択します。

checkForUpdatesタスクを使用して、ARDコンソールを介して、インストールされて いるバージョンが最新かどうかをチェックします。



ログイン

Deep Freezeにログインするには、次の手順を実行します。

 Deep Freeze アイコンをクリックして、[ログイン]を選択します。または、 [Control] + [Option] + [Shift] + [F6] のキーを同時に押して、Deep Freeze を起動 することもできます。Deep Freeze を起動する別の方法として、 /Applications/Faronics/ にある DFXControl.app をクリックすることもできます。 次のダイアログが表示されます。



2. [DF ユーザー名]と[パスワード]を入力します。[OK]をクリックして、Deep Freeze にログインします。



Boot Control (ブート コントロール)タブ

[Boot Control (ブート コントロール)]タブを使用して、Deep Freezeのコンピュータ 上のステータスを変更します。

000	Deep Freeze	
	-71	-ジョン 5.70.2200.0750
ブートコントロール	ドライブ ThawSpace メンテナンス Mapping DF ユーザ ア	マンインストール
Deep Freezeの再起動をFro を指定します。再起動する。	ozenまたはThawedに設定し、ステルス設定およびApple Remote Desktopでの と、変更が有効になります。	りステータスの表示
 Frozen モードで起 次の 次の 1 こ こ	動)みをThawed モードで起動 記動	現在のステイタス THAWED
 内起動 Frozen モードのア Thawed モードのフ Frozen モードのパ 	イコンを隠す Pイコンを隠す ーティションにパッジを表示しない	
□ ログアウトの代わ	りに再起動	
□ ステータスをApple 使用する情報フィー	: Remote Desktopに表示 -ルド: 「情報 1 ‡	
?	エクスポート インポート	適用

次の3つのラジオボタンを使用して、Deep Freezeのモードを変更します。

- コンピュータを Frozen(保護)モードにするには、[Frozen モードで起動]を選択します。
- 指定した回数だけ Thawed(非保護)モードで再起動するには、[次回起動時に Thawed モードで起動]を選択し、再起動の回数を指定します(1から 99の入力が 有効です)。
- コンピュータを Thawed (非保護)モードにするには、[Thawed モードで起動]を 選択します。
- 変更の後でコンピュータを再起動する場合は、[再起動]をクリックします。

次の設定オプションがあります。

- Frozen アイコンを非表示にするには、[Frozen モードのアイコンを隠す] チェック ボックスを選択します。
- Thawed アイコンを非表示にするには、[Thawed モードのアイコンを隠す] チェックボックスを選択します。
- Deep Freeze アイコンを表示せずに Frozen パーティションのみを表示するには、 [Frozen モードのパーティションにバッジを表示しない]チェックボックスを選択します。
- ユーザーのログアウト時に再起動するようにワークステーションを設定するには、[ログアウトしないで再起動]チェックボックスを選択します。([高速ユーザー切り 替え]が有効になっていると、このオプションは機能しません。)



- Apple Remote Desktop でリモート操作を使用してコンピュータのステータス (Frozen または Thawed)を表示するには、[Apple Remote Desktop でステータス 表示]チェックボックスを選択し、希望する[情報フィールド]を選択します。こ れでコンピュータは、再起動時に、選択した情報フィールドに Frozen または Thawed を書き込みます。
- Apple Remote Desktop でこのステータス情報を確認するには、[編集]>[表示オプション]を選択し、一致するコンピュータの情報フィールド(1~4)を選択します。 これでコンピュータに最新のステータスが表示されるため、このステータスカラム を使って、コンピュータグループをソートすることができます。
- [適用]をクリックすると変更が保存され、再起動後に有効になります。

ドライブタブ

[ドライブ]タブを選択すると、コンピュータ上に存在するドライブがリスト表示され ます。表示されたドライブは、FrozenモードまたはThawedモードにすることができ ます。

szenまたはTha	wedにするドライフを1つ以上設定します。再起動す	ると、変更か有効になります。
	Data	
	Macintosh HD	₫
	Storage	ø

コンピュータ上のすべてのドライブは、Deep Freezeインストーラで特に指定した場合 を除き、初期設定でFrozenモードになっています。パーティションを作成してユー ザーデータを保存し、そのパーティションをDeep FreezeインストーラでThawed パーティションとして指定しなかった場合、[Frozen]カラムで対応するチェックボック スの選択を解除してそのパーティションをThawedモードにします。

[適用]をクリックすると変更が保存され、再起動後に有効になります。



USB、FireWire、Thunderboltなどのリムーバルメディアは表示されず、 Frozenモードにできません。



ThawSpaceタブ

ます。

[ThawSpace]タブを使用して、仮想Thawedパーティションを作成します。そうする と、ドキュメントと変更はFrozenモードのコンピュータで継続的に保持されます。管 理者は各ユーザーに対するユーザーThawSpace、またはすべてのユーザーが共有可能 なグローバルThawSpaceを作成できます。[ThawSpace]タブには、ThawSpaceを保 有するユーザーのみが表示されます。

グローバルおよびユーザーThawSpaceは、[Type (タイプ)]カラムに表示されたアイ コンで簡単に識別できます。

グローバルアイコンは、グローバルThawSpaceを示します。

忠

1

ユーザーアイコンは、ユーザーThawSpaceを示します。

ThawSpacesは、[追加]および[削除]ボタンにより、タブ内で追加または削除でき ます。ThawSpacesの単位はMBまたはGBで、1 MBから120 GBの範囲で設定でき

ThawSpaceを作成または修正するには、コンピュータはThawedモードでなければな りません。Deep Freezeインストーラを使用してThawSpaceを設定した場合、 ThawSpaceが作成中であることを示すダイアログが(プログレスバーとともに)表示 されます。グローバルThawSpaceとユーザーThawSpaceは、デスクトップにリムー バブルメディアとして表示されます。その他のユーザーThawSpaceは、アクセスが限 定されたフォルダとして表示されます。

各コンピュータで、最大1つのグローバルThawSpaceおよび32のユーザー ThawSpaceを作成できます。ユーザーThawSpaceはマッピング目的で表示されま す。ThawSpaceはデスクトップにリムーバブルメディアとして表示されます。ユー ザーThawSpaceにユーザーが選択したアイコンを付けるには、[ユーザー ThawSpaceにアイコンを付ける]チェックボックスを選択します。

タイプ	A	ThawSpaces 名	
	THAWSPACE		500 MB
+	user1		500 MB



グローバルThawSpaceの追加

グローバルThawSpaceを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. (+)をクリックします。
- 2. [ユーザー名] リストからグローバル ThawSpace を選択します。
- [サイズ]フィールドに ThawSpace のサイズを入力し、ドロップダウンリストで MB または GB のいずれかの単位を選択します。グローバル ThawSpace の初期設定 サイズは1GB です。
- 4. [OK] をクリックします。ThawSpace を追加せずにタブに戻るには、[キャンセル] をクリックします。
- 5. [ThawSpace] タブで [適用] をクリックして、新しい ThawSpace を作成します。 管理用のユーザー名とパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。

ユーザーThawSpaceの追加

特定のユーザー向けのThawSpaceをドライブに作成するには、以下の手順を実行します。

- 1. (+)をクリックします。
- 2. ThawSpace を作成するユーザーを選択します。
- [サイズ]フィールドに ThawSpace のサイズを入力し、ドロップダウンリストで MB または GB のいずれかの単位を選択します。ユーザー ThawSpace の初期設定サ イズは 500 MB です。
- 4. [OK] をクリックします。ThawSpace を追加せずにタブに戻るには、[キャンセル] をクリックします。
- 5. [ThawSpace] タブで [適用] をクリックして、新しい ThawSpace を作成します。 管理用のユーザー名とパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。



グローバルThawSpaceは、すべてのユーザーがアクセスできます。た だし、ユーザーのThawSpaceは、特定のユーザーのみがアクセスでき ます。ユーザーがログインしたら、その他のユーザーのThawSpaces は、アクセスが限定されたフォルダとしてデスクトップに表示されます。



既存のThawSpaceを削除して、その内容を保持することはできません。 ユーザーがマッピングされているThawSpaceを削除すると、そのユー ザーはコンピュータにログインできなくなります。ThawSpaceを削除す る前に、ユーザーを別の場所にマッピングしておくことを推奨します。

ユーザーまたはグローバルThawSpaceの削除

ユーザーまたはグローバルThawSpaceを削除するには、次の手順を実行します。

1. 削除する ThawSpace を選択して、(-)をクリックします。削除を確認するダイアロ グが表示されます。



- [削除]をクリックして、ThawSpaceを完全に削除します。ThawSpaceを保持してタブに戻るには、[キャンセル]をクリックします。
- 3. [適用]をクリックします。管理用のユーザー名とパスワードの入力を促すダイア ログが表示されます。変更は再起動後に有効になります。

または、Deep Freeze Macをアンインストールして、ThawSpaceを削除することもできます。



ThawSpace仮想ドライブをアンマウントすると、ログアウト/ログイン時または再起動時に復元されます。FrozenモードのコンピュータでThawSpaceを物理的に削除すると、ThawSpaceは再起動時に復元されますが、内容は削除されます。



ThawSpaceを削除する前に、プロファイルまたはフォルダマッピングを 削除します。また、ThawSpaceを削除する前に、シンボリックリンクを 削除する必要もあります。



ThawSpaceに保存されたデータはDeep Freezeで保護されません。 ThawSpaceのデータを保護するには、バックアップやアンチウィルスな ど、通常のデータ保護を使用してください。

ThawSpaceのサイズ変更

ThawSpaceを作成したら、ThawSpaceのサイズを増加または減少して、サイズを変更できます。1つ以上のThawSpaceのサイズを変更するには、次の手順を実行します。

- 1. ThawSpace をクリックします。1 つ以上の ThawSpace を選択して、[サイズ変更]をクリックします。
- 2. [新規サイズ]フィールドに ThawSpace のサイズを入力し、ドロップダウンリスト で MB または GB のいずれかの単位を選択します。ThawSpace (ユーザーおよびグ ローバル ThawSpace) の初期設定サイズは 500 MB です。
- ThawSpace のサイズを変更するには、[OK] をクリックします。ThawSpace のサ イズを変更せずにタブに戻るには、[キャンセル]をクリックします。
- [ThawSpace] タブで [適用]をクリックすると、ThawSpaceのサイズが変更されます。管理用のユーザー名とパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。 再起動しないと、変更は有効になりません。



ThawSpaceのサイズを変更したら、変更は再起動後に有効になります。



ThawSpaceのサイズ変更の制限

ThawSpaceの最小サイズは使用している実際のデータスペースまたは1 MB (いずれか大きい方)で、最大サイズは実際のパーティションサイズまたは120 GB (いずれか小さい方)です。ThawSpaceのサイズ増加には制限はありません。ただし、ThawSpaceのサイズ減少は場合によっては不可能なことがあります。

たとえば、10 MBのThawSpaceは、ThawSpace全体にデータが保存されていても、 20 MBに増加することができます。けれども、10 MBのThawSpaceを10 MB未満に 減少する場合は、データが書き込まれている場所によってはThawSpaceのサイズを減 少できないことがあります。データが10 MBのスペース全体に分散されていると、 ThawSpaceのサイズは変更できません。ただし、データがThawSpaceの最初にのみ 書きこまれている場合、ThawSpaceの最後までで、連続的な空きスペースのある限界 までにサイズを変更できます。



ThawSpaceをデフラグするには、まずThawSpaceのすべてのデータを コピーして、ThawSpaceを削除します。次に、希望するサイズで ThawSpaceを新たに作成し、すべてのデータをThawSpaceにコピーし て戻します。データをコピーして、ThawSpaceからデータを削除し、 ThawSpaceにデータをコピーして戻すこともできますが、オペレーティ ングシステムが連続的なドライブスペースを使用することは保証されま せん。



Maintenanceタブ

メンテナンス期間をスケジュール設定するには、[Maintenance]タブを使用します。 メンテナンス期間には、コンピュータが自動的にThawedモードになり、Appleソフ トウェアアップデートを永久的に適用できます。メンテナンススケジュールが開始す るためには、コンピュータはFrozenモードになっている必要があります。

Appleソフ をスケジュ	トウェアのアップデート ール設定します。再起	、とその他の変更か 動すると、変更が1	『永久的に適用され 有効になります。	るために、コンピュ	ータが自動的	IにThawedになる期間
有効	名前	頻度	曜日	起動	終了	要約
≤	スケジュール 1	繰り返し中	水	9:00 PM	10:00 PM	🔍 🗅 角 🖒 🛦
	スケジュール 2	繰り返し中	土日	2:00 PM	4:00 PM	🕲 🗅 🖨 🕁 🗛
	0					

複数のメンテナンス スケジュールの作成および命名

それぞれ異なる名前を持つ複数のメンテナンススケジュールを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. [Maintenance] タブで、(+) をクリックします。
- 2. [スケジュールの追加]ダイアログが表示されます。次のオプションを指定または 選択します。
- 名前 デフォルトは [スケジュール 1] です。この名前をそのまま使うことも、変更 することもできます。
- 頻度 複数の日数には、[繰り返し]を選択し、1日には[一度のみ]を選択しま す。
- 曜日 [月] ~ [日] をクリックして、1日以上の曜日を選択します。
- 開始 開始時間を選択します。
- 終了 終了時間を選択します。
- [Apple ソフトウェアアップデートをインストールします]を選択して、使用可能な すべての Apple ソフトウェアアップデートをインストールします。



スクリプトの実行 - このオプションを選択して、ドロップダウンから[スクリプトの追加]を選択します。スクリプトを追加するには、フォルダに移動し、スクリプトを選択して、[選択]をクリックします。[スクリプトの削除]を選択すると、これまでに追加したスクリプトが削除されます。



スクリプトの追加または削除は、コンピュータがThawedモードのとき にのみ実行できます。

- [ユーザーをロックアウト]を選択して、メンテナンス期間中はユーザーがコン ピュータにアクセスできないようにします。
- [メンテナンス後にシャットダウン]を選択すると、メンテナンス期間終了後にコン ピュータがシャットダウンされます。
- 「メンテナンスが開始する x 分前にメッセージを表示する]を選択すると、コン ピュータが指定された時間に使用できなくなること警告するメッセージが表示され ます。指定のフィールドに警告時間を入力します。テキストボックスに、指定され た時間にメンテナンススケジュールが発生することを説明する、ユーザーへのカス タムメッセージを入力します。変数として [%d]をメッセージに挿入すると、メンテ ナンス期間開始までの分数が自動的に表示されます。([%d]は現在の時間とスケ ジュールされたメンテナンスの開始時間との時間差に対応する変数です。)



最短のメンテナンス期間は10分です。

スケジュールとスケジュールの間は最低10分の間隔をあける必要があり ます。

メンテナンスが完了されるために、十分な時間を取るようにしてください。時間が十分でないと、アップデートが完了しません。

3. [OK] をクリックすると変更が保存され、再起動後に有効になります。

編集、削除、エクスポート、インポート

メンテナンススケジュールを削除するには、スケジュールを選択して、(-)削除をクリックします。

メンテナンススケジュールを編集するには、スケジュールを選択して [編集]をクリッ クします。

メンテナンススケジュールを無効にするには、[有効]チェックボックスの選択を解除 します。

メンテナンススケジュールを有効にするには、[有効]チェックボックスを選択します。



マッピングタブ

[マッピング]タブを使用すると、特定のThawSpaceまたはパーティションにユー ザープロファイルをマッピングするか、ユーザーのホームフォルダの要素を特定の ThawSpaceまたはパーティションにマッピングできます。この機能は管理者レベルで のみ使用可能です。現在ログインしているユーザーはマッピングできません

ユーザアカウント	ユーザの位置: 📃 起動ポリュ	- <i>L</i> \$
k User 1 User 2	「デスクトップ	マッピング未実行
		マッピング未実行
		マッピング未実行
		マッピング未実行
	ロミュージック	マッピング未実行
	ロライプラリ	マッピング未実行
	□Safariブックマーク	マッピング未実行
	□ Firefox ブックマーク	マッピング未実行

ユーザーのホームフォルダをターゲットにマッピングするには、ユーザーのアカウントを選択し、[User Location (ユーザーの場所)]で[起動ボリューム]、[ユーザーThawSpace]、[パーティション]、[カスタム]の中から利用可能なオプションを1つ選択します。

- ・ 起動ボリューム オペレーティングシステムの起動元にユーザーアカウントをマッ ピングします。起動ボリュームが Frozen になっていると、再起動時に変更は消失 します。
- ユーザー ThawSpace このユーザー向けに作成された対応するユーザー ThawSpace に、ユーザーアカウントをマッピングします。ユーザー ThawSpace の名前は変更しないようにしてください。名前を変更すると、元のユーザーアカウ ントからアクセスできなくなります。
- パーティション [ドライブ]タブにリストされている特定のパーティションに ユーザーアカウントをマッピングできます。
- カスタム ユーザー ThawSpace やパーティションにユーザーアカウントの特定の 要素(写真、映画、音楽など)をマッピングできます。まず、要素をクリックして、 マッピング先となる ThawSpace またはパーティションを選択します。カスタムで マッピングされたユーザーは起動ボリュームに置かれている必要があります。ユー ザーをユーザー ThawSpace またはその他のボリュームに完全にマッピングしてか ら、その一部を他の場所にカスタムでマッピングすることはできません。

変更したら [適用] クリックします。



ブックマークについては、マッピング先の場所が必要です。たとえば、ユーザーが Safariを実行したことがない場合、Safariをマッピングすることはできません。Deep Freezeではユーザーのフォルダおよびブックマークは作成されません。



スペースが不足している場所にマッピングを試みても、マッピングは実 行されません。



| マッピングが機能するためには、ショートネームは、[システム環境設定] > [アカウント] > [アカウント名] > [アドバンストオプション]の ホームディレクトリー名と一致する必要があります。



DFユーザータブ

管理者は[DFユーザー]タブでコンピュータ上のユーザーを管理できます。各コン ピュータでは最大4人のユーザーが許可されていますが、第1ユーザー(管理ユー ザー)のみが他のDFユーザーを作成、編集、削除できます。その他の権限は、Deep Freeze管理者およびDeep Freezeユーザーにとって同じです。

0	Deep rieeze	
	パージョン 5.7	0.2200.0
ブートコントロール	ドライプ ThawSpace メンテナンス Mapping DFユーザ アンインスト	-n
コンピュータでDeep Free ます。	zeを管理するために、最大4人のユーザーを作成します。管理者ユーザーのみにすべての特	権があり
	DF ユーザ名	1
admin (管理者)		
user1		
		_
+ - /		
	エクスポート インポート	適用

DFユーザーの追加、削除、編集

新しいユーザーを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. (+)をクリックします。
- 2. [DF ユーザー名]と[パスワード]を入力し、パスワードを再入力して確認します。
- 3. ユーザープロファイルへの変更を保存するには [OK] をクリックし、保存せずに中止するには [キャンセル] をクリックします。

DFユーザーを削除するには、(-)をクリックします。削除を確認するダイアログが表示されます。中止するには[キャンセル]をクリックし、DFユーザーの削除を確定するには[削除]をクリックします。少なくとも1人のDFユーザーが常に存在している必要があります。最初に作成した第1のDFユーザーは削除できません。

DFユーザーのプロパティを編集するには、[編集]をクリックします。必要に応じて、 プロパティダイアログでユーザー名とパスワードを編集します。



アンインストールタブ

[アンインストール]オプションを使用するには、コンピュータはThawedモードでな ければなりません。コンピュータがFrozenモードになっていると、[アンインストー ル]オプションは使用できません。コンピュータにすでにThawSpaceがある場合は、 希望するボタンを選択してThawSpaceを保持するか削除するかを選択します。

ThawSpaceは、/Library/Application Support/Faronics/Deep Freeze/ThawSpacesにあります。

Deep Freezeをアンインストールするには、[アンインストール]をクリックします。

0 0	Deep Freeze	
		パージョン 5.70.2200.075
ブートコントロール ド	ライブ ThawSpace メンテナンス M	Mapping DF ユーザ アンインストール
Thawed状態のときに、Deep Fi 場合、Deep Freezeをアンインジ	eezeをアンインストールします。コンピュー ストールする前にマッピングを削除してくださ	タのユーザーがThawSpaceにマップされている らい。
 ● 既存の ThawSpace(s) 者 	をそのままの状態に保持	現在のスティタス
 ○ 既存の ThawSpace(s) 者 	と削除	THAWED
アンインストール		
	エクスポ	ペート インポート 適用

コンピュータが再起動し、Deep Freezeはアンインストールされます。



Deep Freezeのアンインストール時に、プログラムのすべてのコンポー ネントが永久に削除されます。



ThawSpaceを削除する前に、プロファイルまたはフォルダマッピングを 削除します。

設定のエクスポートおよびインポート

Deep Freezeの設定情報を記録したファイルを、プロパティリストファイルとしてエク スポートできます。このプロパティリストは、他のDeep Freezeインストーラにイン ポートして、対象のコンピュータに展開することができます。

Deep Freezeの設定情報セットをエクスポートするには、[エクスポート]をクリックし、任意の場所にファイルを保存します。



設定ファイルをインポートするには、[インポート]をクリックし、保存されたファイ ルの場所を指定します。ファイルのインポートによる変更を反映するには、コン ピュータの再起動が必要です。

ドライブ、ThawSpace、マッピングページは他のコンピュータには関連してないため、 エクスポートまたはインポートされません。



Deep Freeze Remote

この章では、Deep Freeze Remoteを使ってDeep Freezeを管理する手順を説明します。

トピック

概要 Deep Freeze Remoteの使用 Deep Freeze Remoteにより、ARDを介してDeep Freezeを管理できます。ARDは Deep Freeze Remoteの前提条件のため、Deep Freeze Remoteをインストールする前 に、同じコンピュータにARDがインストールされていることを確認します。

Deep Freeze Remoteを使用する前に

- Deep Freeze Remote でアクションが実行されるためには、ARD がバックグラウン ドで実行されている必要があります。Deep Freeze Remote は管理者のコンピュー タのみにインストールされている必要があります。
- Deep Freeze Remote が、コンピュータにコマンドを送信するために、Deep Freeze ユーザーの名前とパスワードが必要です。Deep Freeze Remote には、ARD のための Deep Freeze タスクがインストールされている必要はありません。
- Deep Freeze Remote は、コンピュータリストと ARD からのコンピュータリストを 取得します。Deep Freeze Remote は ARD に依存するため、最初に ARD 内のコン ピュータリストでコンピュータを設定します。コンピュータリストにコンピュータ を追加するには、管理者コンピュータの管理者ユーザー名とパスワードを手に入れ て、ARD 内で認証する必要があります。
- ARD 内で管理する Deep Freeze コンピュータのリストを作成します。



Deep Freeze Remoteの使用

Deep Freeze Remoteは、/Applicationsフォルダから開始できます。Deep Freeze Remoteをダブルクリックして、起動します。

00			Deep	Freeze Remote		
Freeze Thaw	5110	() 有起動	シャットダウン	אראד אטד		ストール
コンピュータリスト		コンピ:	1-9			
すべてのコンピュータ		10.0.4	4.60			

特定のアクションを行うには、次の手順を実行します。

Freeze

- 1. [コンピュータ]ペインからコンピュータを選択して、[Freeze]をクリックします。
- 2. [ファイルの保存を許可して、再起動する]、[すぐに再起動する(保存されていないファイルへの変更は失われます)]、[再起動しない(アクションは再起動後に有効になります)]のいずれかを選択します。
- 3. [OK] をクリックします。

Thaw

- 1. [コンピュータ]ペインからコンピュータを選択して、[Thaw]をクリックします。
- 2. [ファイルの保存を許可して、再起動する]、[すぐに再起動する(保存されていないファイルへの変更は失われます)]、[再起動しない(アクションは再起動後に有効になります)]のいずれかを選択します。
- 3. [OK] をクリックします。



[コンピュータ]ウィンドウからコンピュータを選択し、ウェイクをクリックします。

ウェイクアクションを使用する前に、ターゲットコンピュータの[シス テム環境設定] > [Energy Saver]で[Wake for network access (ネット ワークアクセスに対してウェイクする)]オプションが有効になっている ことを確認します。ターゲットコンピュータでこのオプションが選択さ れていないと、ウェイクアクションは実施されません。

再起動

- 1. [コンピュータ]ペインからコンピュータを選択して、[再起動]をクリックします。
- 2. [ファイルの保存を許可して、再起動する]または[すぐに再起動する(保存されていないファイルへの変更は失われます)]を選択します。
- 3. [OK] をクリックします。

シャットダウン

- 1. [コンピュータ]ペインからコンピュータを選択して、[シャットダウン]を選択します。
- [ファイルの保存を許可して、シャットダウンする]または[すぐにシャットダウン する(保存されていないファイルへの変更は失われます)]のいずれかを選択しま す。
- 3. [OK] をクリックします。

メンテナンス

[コンピュータ]ペインからコンピュータを選択して、[Maintenance]をクリックします。

- 1. メンテナンススケジュールを追加するには、(+)をクリックします。次の設定を行 います。
- 2. [スケジュールの追加]ダイアログが表示されます。次のオプションを指定または 選択します。
- 名前 デフォルトは [スケジュール 1] です。この名前をそのまま使うことも、変更 することもできます。
- 頻度 複数の日数には、[繰り返し]を選択し、1日には[一度のみ]を選択しま す。
- 曜日 [月] ~ [日] をクリックして、1日以上の曜日を選択します。
- 開始 開始時間を選択します。
- 終了 終了時間を選択します。
- [Apple ソフトウェアアップデートをインストールします]を選択して、使用可能な すべての Apple ソフトウェアアップデートをインストールします。



スクリプトの実行 - このオプションを選択して、ドロップダウンから[スクリプトの追加]を選択します。スクリプトを追加するには、フォルダに移動し、スクリプトを選択して、[選択]をクリックします。[スクリプトの削除]を選択すると、これまでに追加したスクリプトが削除されます。追加したスクリプトファイルの場所は、~/Library/Application Support/Faronics/Deep Freeze/Scripts フォルダです。



スクリプトの追加または削除は、ターゲットコンピュータがThawed モードのときにのみ実行できます。

- [ユーザーをロックアウト]を選択して、メンテナンス期間中はユーザーがコン ピュータにアクセスできないようにします。
- [メンテナンス後にシャットダウン]を選択すると、メンテナンス期間終了後にコン ピュータがシャットダウンされます。
- [メンテナンスが開始する x 分前にメッセージを表示する]を選択すると、コン ピュータが指定された時間に使用できなくなること警告するメッセージが表示され ます。指定のフィールドに警告時間を入力します。テキストボックスに、指定され た時間にメンテナンススケジュールが発生することを説明する、ユーザーへのカス タムメッセージを入力します。変数として [%d]をメッセージに挿入すると、メンテ ナンス期間開始までの分数が自動的に表示されます。([%d]は現在の時間とスケ ジュールされたメンテナンスの開始時間との時間差に対応する変数です。)



最短のメンテナンス期間は10分です。

スケジュールとスケジュールの間は最低10分の間隔をあける必要があり ます。

メンテナンスが完了されるために、十分な時間を取るようにしてください。時間が十分でないと、アップデートが完了しません。

- 3. [送信]をクリックします。
- [ファイルの保存を許可して、再起動する]、[すぐに再起動する(保存されていないファイルへの変更は失われます)]、[再起動しない(アクションは再起動後に有効になります)]のいずれかを選択します。
- 5. [OK] をクリックします。

メンテナンススケジュールをエクスポートするには、[エクスポート]をクリックしま す。以前エクスポートしたメンテナンススケジュールをインポートするには、[イン ポート]をクリックします。



選択したコンピュータに送信されたすべてのスケジュールは、既存のス ケジュールに置き換わります。



ライセンス

- [コンピュータ]ペインからコンピュータを選択して、[ライセンス]をクリックします。
- 2. [Deep Freeze ライセンスキー]を指定します。
- 3. [OK] をクリックします。

インストール

- [コンピュータ]ペインからコンピュータを選択して、[インストール]をクリック します。
- 2. [次へ]を選択して、インストーラの場所をブラウズし、インストーラを選択しま す。
- 3. [インストール]をクリックします。
- [ファイルの保存を許可して、再起動する]、[すぐに再起動する(保存されていないファイルへの変更は失われます)]、[再起動しない(アクションは再起動後に有効になります)]のいずれかを選択します。
- 5. [OK] をクリックします。

アンインストール

- 1. [コンピュータ]ペインからコンピュータを選択して、[アンインストール]をク リックします。
- ThawSpace を維持するには、[既存の ThawSpace をそのままの状態で保持する] を選択します。選択したコンピュータのすべての ThawSpace を削除するには、[既存の ThawSpace を削除する]を選択します。
- 3. [アンインストール]をクリックします。
- [ファイルの保存を許可して、再起動する]、[すぐに再起動する(保存されていないファイルへの変更は失われます)]、[再起動しない(アクションは再起動後に有効になります)]のいずれかを選択します。
- 5. [OK] をクリックします。



Deep Freeze のタスク

この章では、ARDを使ったDeep Freezeタスクの手順を説明します。

トピック

概要 Deep Freezeタスクの使用 タスクリストへのターゲットコンピュータの追加 タスクの使用および編集 コマンドラインスクリプトの例





Deep Freezeのタスクは、ARDを介してDeep Freezeを管理するために使用する、予め設定されたアクションです。





ARDでは、Deep Freezeに特定のタスクはDeep Freezeフォルダに保存されています。

各タスクの関数は、下記の関数と同じです。requestStatus以外の各タスクは、Deep Freezeで設定できます。

次のコマンドと引数があります。

コマンド	引数	説明
activateSchedule	スケジュール名	ターゲットコンピュータでスケ ジュールされた更新を有効にしま す。スケジュール名がパラメータと してコマンドに含まれている必要が あります。
addUser	新規ユーザー名	ユーザーをリストに追加します。
addSchedule	schedule_name [-a "on" "off"] [-d monday[,tuesday,wednesday,thursda y,friday,saturday,sunday]] [-b "24-hr-time"] [-e "24-hr-time"] [-o "on" "off"] [-i "on" "off"] [-1 "on" "off"] [-w "off" 5-999] [-m "message string"] [-s "on" "off"] [-r "off" "script name"]	スケジュールを追加します。 24時間制の時間は、HH:MMの形式 です。 複数の曜日はスケジュールを繰り返 すためです。 複数のスケジュールを指定する際 に、指定する曜日と曜日の間にス ペースを入れないようにします。



コマンド	引数	説明
badgeFrozenPartiti ons	on off	FrozenパーティションのDeep Freezeアイコンを表示/非表示にし ます。
bootFrozen		ターゲットコンピュータをFrozen モードで再起動します。
bootThawed		ターゲットコンピュータをThawed モードで再起動します。
bootThawedFor	時間	次のx回の再起動時にThawedモー ドで再起動するように、ターゲット コンピュータを設定します。回数は Times引数でカスタマイズできま す。
checkForUpdates		ターゲットコンピュータの現在の Deep Freezeのバージョンが最新か どうかをチェックします。
createThawSpace		再起動を繰り返してもデータを継続 的に保存できるFrozenボリューム に、仮想パーティションを作成しま す*。
deactivateSchedule	スケジュール名	ターゲットコンピュータでスケ ジュールされた更新を無効化しま す。スケジュール名がパラメータと してコマンドに含まれている必要が あります。
deleteUser	ユーザー名	リストからユーザーを削除します。
deleteScript	スクリプト名	特定のスクリプトを削除します。
deleteAllScripts		すべてのスクリプトを削除します。
editSchedule	schedule_name [newname "new_schedule_name"] [activate "on" "off"] [day monday[,tuesday,wednesday,thursda y,friday,saturday,sunday]] [begin "24-hr-time"] [end "24-hr-time"] [onceonly "on" "off"] [installappleupdate "on" "off"] [lockuser "on" "off"] [warnuser "off" 5-999] [message "message string"] [shutdownafter "on" "off"] [runscript "off" "script name"]	スケジュールを編集します。



コマンド	引数	説明
editUser	ユーザー名	ユーザーの名前およびパスワードの 編集を管理者に許可します。
freezePartition	パーティション名	ターゲットコンピュータでFrozen モードにするパーティションを指定 します。
getARDInfoField		コンピュータのステータスを表示す るApple Remote Desktopの情報 フィールドを指定します。
getLicenseInfo		ライセンス情報が表示されます。
mapAllUsers	(引数1) admin standard mobile (引数2) Partition name userthawspace	指定されたThawSpaceにすべての ユーザーをマッピングします。ユー ザータイプ名とThawSpaceの場所 がパラメータに含まれる必要があり ます。例: admin Pantherは すべて の管理ユーザーをPantherという パーティションにマッピングしま す。**
help		これにより[deepfreeze]コマンド ラインツールで利用可能なすべての オプションとパラメータが印刷され ます。
removeSchedule	schedule_name	スケジュールを削除します。
removeAllSchedules		すべてのスケジュールを削除しま す。
resizeThawSpace	"global" userthawspace_name nnnn	ThawSpaceのサイズを変更します。 グローバルThawSpaceを表す globalはそのまま入力します。 nnnnはMBによる新規サイズです。
rebootInsteadOfLog off	on off	引数にonを指定すると、ログオフ の代わりにターゲットコンピュータ が再起動されます。引数にoffを指 定すると、この機能は無効になりま す。
removeThawSpace	userthawspace_name global	 1つのThawSpaceを削除します。 ***
removeAllThawSpace		すべてのThawSpaceを削除しま す。



コマンド	引数	説明
setARDInfoField	ARD情報フィールド	このパラメータは、コンピュータの ステータスを表示するために使用す る、Remote Desktopの情報フィー ルドを指定します。パラメータ値は 0から4までです。0は情報フィー ルドの設定を解除します。
setLicenseKey	license_key	ライセンスキーを設定します。
showFrozenIcon	on off	メニューバーでDeep Freeze Frozen アイコンを表示/非表示にするよう に、ターゲットコンピュータを設定 します。
showThawedIcon	on off	メニューバーでDeep Freeze Thawedアイコンを表示/非表示に するように、ターゲッ コンピュータ を設定します。
status	[-x]	様々なDeep Freeze設定のステータ スの表示を、ターゲットコンピュー タに要求します。xは結果をXML 形式にするように指定します。
thawPartition	パーティション名	ターゲットコンピュータ上で Thawedモードにするパーティショ ンを指定します。
uninstall	[keepThawSpace]	ターゲットコンピュータからDeep Freezeをアンインストールします。 アンインストールタスクを実行する 前に、ターゲットコンピュータを Thawedモードで再起動する必要が あります。 [KeepThawSpace]はターゲットコ ンピュータからDeep Freezeをアン
		インストールしますが、 ThawSpaceは保持します。
version	[-x]	Deep Freezeのバージョン番号を表 示します。xは結果をXML形式に するように指定します。

* = [Deep Freeze Assistant] により作成されたカスタムインストーラの設定を使用す る Deep Freeze の最初の インストール時にのみ発生します。

** = mapAllUsersコマンドには、[admin]や[standard]、[mobile]、[userthawspace] のパラメータと、[Macintosh HD]または[Panther]などのパーティション名が含まれ ます。

*** = 1つのThawSpaceの[名前]を指定する必要があります。グローバル ThawSpaceであれば[global]と指定します。



Apple Remote Desktopを使ったスクリプトファイルの追加

Apple Remote Desktopを使ってスクリプトファイルを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. コンピュータリストからターゲットコンピュータを選択します。
- 2. メニューから[管理]>[項目のコピー…]を選択します。
- 3. [コピーする項目]リストにスクリプトファイルを追加します。
- 4. [項目の保存先]で、[完全なパスの指定…]を選択し、/Library/Application Support/Faronics/Deep Freeze/Scripts を入力します。[OK] をクリックします。
- 5. [所有権の設定先]で、[デスティネーションフォルダから継承]を選択します。
- 6. 必要に応じて、その他の設定ができます。
- 7. [コピー]をクリックします。



タスクリストへのターゲットコンピュータの追加

タスクを実行するには、タスク実行の対象となるコンピュータが必要です。タスク実 行の対象となるコンピュータを1台または複数台追加するには、次の手順を実行しま す。

- 左側のカラムで、指定したコンピュータを対象とするタスクをダブルクリックします。
- [タスクの編集]ウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部のダイアログには、 タスクに割り当てられた指定コンピュータがリストされています。コンピュータを リストに追加する前は、[コンピュータなし]と表示されます。
- 希望するコンピュータまたはコンピュータグループを、[すべてのコンピュータ] リストにあるコンピュータからダイアログにドラッグ&ドロップします。特定のタ スクに割り当てられたコンピュータの数がウィンドウ下部に表示されます。
- 4. [保存]をクリックします。



タスクの使用および編集

タスクを使用するには、ユーザー名やパスワードなど、タスク固有の情報を追加して、 編集しておく必要があります。

タスクを実行するには、次の条件および設定をARDに適用する必要があります。

- タスクに対するターゲットコンピュータを必ず指定する
- ターゲットコンピュータに Deep Freeze を必ずインストールしておく
- コマンドを実行するために、ターゲットコンピュータのユーザーを必ず指定する

次の図は、Status関数の出力例を示しています。

ターゲットのステータスを表示するには、Apple Remote Desktopの[タスクの編集] ウィンドウで[すべての出力を表示]チェックボックスを選択しておく必要がありま す。

```
****STATUS FOR: faronicss-mac-mini.local****
      BOOT THAWED
HIDE FROZEN ICON IN MENU BAR: FALSE
      HIDE THAWED ICON IN MENU BAR: FALSE
RESTART INSTEAD OF LOG OUT: FALSE
DON'T BADGE FROZEN PARTITIONS: FALSE
      SHOW STATUS IN APPLE REMOTE DESKTOP: FALSE
      DRIVE STATUS
          Drive:Data Frozen:TRUE
          Drive:Macintosh HD Frozen:TRUE
          Drive:Storage Frozen:TRUE
      USER THAWSPACE INFORMATION
          ThawSpace:<user1> Size:500 MB
ThawSpace:<user2> Size:500 MB
      GLOBAL THAWSPACE INFORMATION
          Size = 500 MB
      MAINTENANCE INFORMATION
          SCHEDULE 0: ENABLED (スケジュール 1)
          SCHEDULE IS SET FOR Wed FROM 21:00 TO 22:00
IN MAINTENANCE: FALSE
          FREQUENCY: REPEATING
INSTALL UPDATES: FALSE
          RUN SCRIPT: FALSE
          TAKE OVER MACHINE: TRUE
          SHUTDOWN AFTER: TRUE
          SHOW MESSAGE: TRUE
          SHOW MESSAGE 5 MINUTES BEFORE
          MESSAGE: このコンピュータは%d分以内にメンテナンスモードになります。
          SCHEDULE 1: ENABLED (スケジュール 2)
SCHEDULE IS SET FOR Sat, Sun FROM 14:00 TO 16:00
          IN MAINTENANCE: FALSE
          FREQUENCY: REPEATING
          INSTALL UPDATES: TRUE
          RUN SCRIPT: FALSE
          TAKE OVER MACHINE:
                                  FALSE
          SHUTDOWN AFTER: TRUE
          SHOW MESSAGE: FALSE
      SCRIPT LIST
          No Script
      USER MAPPING
          User "admin" Home Directory: /Users/admin
User "user1" Home Directory: /Volumes/user1/Users/user1
User "user2" Home Directory: /Users/user2
                Documents mapped
Library mapped
Desktop mapped
                Pictures mapped
                Movies mapped
```



下の図は、ターゲットコンピュータの現在のコンソールユーザーで実行するように設 定された、activateScheduleタスクです。

MALE LINIX コマンドを送信	テンプレート: たし	
DFXPSWD="password" /Library/Application\ Suppo activateSchedule "schedule name"	ort/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p	
/bin/bash を使って実行する UNIX コマンドを入力	っします。	
コマンドを実行するときのユーザ名	🛿 : 💿 対象コンピュータの現在のコンソールユー	ザ
	○ ユーザ :	
コマンドの実行結果	県: 🗹 すべての出力を表示	
名前	▲ 状況	
コンピュータがありません		
246		V¥ /==
-77 8	14-44	

各タスクで、ターゲットコンピュータのDeep Freezeユーザー名およびパスワードを 使用できるように編集する必要があります。上の例では、Deep Freezeユーザー名は [admin]、Deep Freezeパスワードは[password]です。



| 次のタスクはターゲットコンピュータのルートとして実行する必要があります。ルートとして実行しなければ、許可が不十分となり、タスクが | 失敗します。

- createThawSpace
- deleteScript
- deleteAllScripts
- mapAllUsers
- removeThawSpace
- removeAllThawSpace
- resizeThawSpace
- status
- uninstall keepThawSpace
- uninstall



コマンドラインスクリプトの例

Deep Freeze Macタスクにより、管理者はDeep Freeze Macコンピュータをさらに柔 軟に管理できます。これらのタスクは、複数の異なる他社製エンタープライズ管理ツー ルや中央管理ソリューションと組み合わせてお使いいただけます。これには、SSH経 由でリモートコンピュータに接続中に使用できるターミナルでの実行コマンドが含まれ ます。

bootFrozenコマンドを使用したスクリプトの例は次のとおりです。

DFXPSWD="password" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p bootFrozen

この例では、[admin]は有効なDeep Freeze Macのユーザー名で、[password]はその ユーザーのパスワードです。このスクリプト例を修正すれば、タスク表に記載されたす べてのタスクを実行できます。

Deep Freezeコマンドラインを実行するその他の例は次のとおりです。

Deep Freezeのユーザー[admin]とパスワード[password]を使って、[Schedule 1]メ ンテナンススケジュールを有効にします。

DFXPSWD="password" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p activateSchedule "Schedule 1"

新規ユーザー[mjones]とパスワード[xz18PfB]を追加します。

DFXPSWD="password" DFXNEWPSWD="xz18PfB" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p addUser mjones

既存のユーザー[mjones]を[jsmith]とパスワード[xz18PfB]に変更します。

DFXPSWD="password" DFXNEWPSWD="xz18PfB" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p editUser mjones jsmith

[Software Update]という名前のスケジュールを追加します。これは毎週水曜日と土曜日の6:00 PMから10:00 PMにソフトウェアアップデートを実施し、メッセージを送信してユーザーに5:50 PMに警告し、ユーザーをロックアウトして、メンテナンスの終 了後にシャットダウンせず、[myscript.sh]というスクリプトを実行します。

DFXPSWD="password" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p addSchedule "Software Update" -a on -d wednesday,saturday -b 18:00 -e 22:00 -o off -i on -l on -w 10 -m "Maintenance will begin in %d minutes." -s off -r myscript.sh

[Software Update]という名前のスケジュールを追加します。これは次の土曜日の6:00 PMから10:00 PMのみに1回ソフトウェアアップデートを実施し、メッセージを送信 してユーザーに5:50 PMに警告し、ユーザーをロックアウトして、メンテナンスの終 了後にシャットダウンせず、[myscript.sh]というスクリプトを実行します。

DFXPSWD="password" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p addSchedule "Software Update" -a on -d saturday -b 18:00 -e 22:00 -o on -i on -l on -w 10 -m "Maintenance will begin in %d minutes."-s off -r myscript.sh



ユーザーThawSpaceにすべての標準のユーザーをマッピングします。 DFXPSWD="password" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p mapAllUsers standard userthawspace

すべての管理者ユーザーを[Second Drive]というパーティションにマッピングします。 DFXPSWD="password" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p mapAllUsers admin "Second Drive"

グローバルThawSpaceを削除します。 DFXPSWD="password" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p removeThawSpace global

jsmithというユーザーのユーザーThawSpaceのサイズを750 MBに変更します。 DFXPSWD="password" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p resizeThawSpace jsmith 750

[Third Drive]というパーティションをThawedモードに設定します。 DFXPSWD="password" /Library/Application\ Support/Faronics/Deep\ Freeze/deepfreeze -u "admin" -p thawPartition "Third Drive"



Deep Freeze のアンインストール

この章では、アンインストールについて説明します。

トピック

コンピュータ上のDeep Freezeの手動でのアンインストール Deep Freeze Remoteを使ったDeep Freezeのアンインストール Deep Freezeタスクを使ったDeep Freezeのアンインストール



コンピュータ上のDeep Freezeの手動でのアンインストール

Deep Freezeがインストールされたコンピュータから手動でDeep Freezeをアンイン ストールするには、次の手順を実行します。

- 1. Deep Freeze にログインします。
- 2. コンピュータを Thawed モードで再起動します (Frozen の場合)。
- 3. [アンインストール]タブを開きます。
- ThawSpace を維持するには、[既存の ThawSpace をそのままの状態で保持する] を選択します。選択したコンピュータのすべての ThawSpace を削除するには、[既存の ThawSpace を削除する]を選択します。
- 5. *[アンインストール]*をクリックします。

Deep Freezeがアンインストールされて、コンピュータが再起動します。



Deep Freeze Remoteを使ったDeep Freezeのアンインストール

Deep Freeze Remoteを使ってDeep Freezeをアンインストールするには、次の手順を 実行します。

- 1. [コンピュータ]ペインからコンピュータを選択して、[アンインストール]をク リックします。
- ThawSpace を維持するには、[既存の ThawSpace をそのままの状態で保持する] を選択します。選択したコンピュータのすべての ThawSpace を削除するには、[既 存の ThawSpace を削除する]を選択します。
- 3. [アンインストール]をクリックします。
- [ファイルの保存を許可して、再起動する]、[すぐに再起動する(保存されていないファイルへの変更は失われます)]、[再起動しない(アクションは再起動後に有効になります)]のいずれかを選択します。
- 5. [OK] をクリックします。

詳細は、[Deep Freeze Remoteの使用]を参照してください。



Deep Freezeタスクを使ったDeep Freezeのアンインストール

Deep Freezeタスクを使ってDeep Freezeをアンインストールするには、次の手順を 実行します。

- 1. ARD を起動します。
- 2. Deep Freeze フォルダに移動します。
- 3. [アンインストール]をダブルクリックします。タスクダイアログが表示されます。
- 4. メインの ARD ウィンドウに戻ります。Deep Freeze をアンインストールするコン ピュータのリストを選択します。
- 5. コンピュータをタスクにドラッグ&ドロップします。
- 6. [送信]をクリックします。

選択したコンピュータからDeep Freezeがアンインストールされます。

既存のThawSpaceを維持するには、Deep Freezeタスクから uninstallKeepThawSpaceコマンドを使用できます。詳細は、[Deep Freezeタスクの 使用]を参照してください。